

事務事業名 山武消防ポンプ操法大会開催事業

政策:01 暮らしを支える快適なまちづくり

施策:03 防災・消防対策の充実

部名:総務部

課名:総務課

基本事業:99 施策の総合推進

計画年度	平成21年度	～	平成21年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計				
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
郡市内消防団				操法技術を競い、各団の水準を高め、防火体制の確立を図ることを目的に開催される大会の当番団を努めた。（輪番制により6年に1度実施される事業） 【大会概要】 会場 蓮沼海浜公園駐車場 主催 千葉県消防協会山武支部 【スケジュール】 平成21年5月 当番団打合せ 6月 大会会場整備・現地訓練（2日） 6月末 大会前日準備・大会及び後片付け							
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）											
山武消防ポンプ操法大会が円滑に開催される。											
4 活動指標・成果指標・事業費の推移											
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値			
活動指標	打合せ回数			回	-	1	-	-			
活動指標											
成果指標	大会当日のトラブル発生件数			件	-	0	-	-			
成果指標											
事業費				千円	0	226	0				
うち一般財源				千円	0	226	0				
5 目的妥当性											
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				輪番制で実施しているので、当番が回ってきたときに行うのは妥当である。							
6 上位の基本事業への貢献度											
○ 貢献度大きい（理由→） ○ 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ● 基礎的事務事業				施策の総合推進							
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討											
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				会場の準備、設営が主な事業であり、対象、意図の見直しはできない。							
8 有効性（成果状況）											
○ あがっている ● どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				大会当番の輪番制（6年に1度）によるもの。							
9 有効性（成果向上余地）											
○ 成果向上余地・大 ● 成果向上余地・中 ○ 成果向上余地・小・無し											
10 事業の再編成											
○ 類似の事業があり、再編成できる ○ 類似の事業はあるが、再編成できない ● 類似の事業はない				類似する事業はない。							
11 効率性（コスト削減の方法）											
○ ある ● ない				なし							